

# 東芝テックOB会だより

第22号 2011年8月31日

## 第17回OB会総会開催日のお知らせ!

OB会員の皆様には益々ご健勝にてお過ごしのことと存じます。

さて、下記のとおり開催の日程が決まりましたのでご案内致します。

どうぞ久し振りに仲間との再会を楽しみに会員皆様のご出席を期待しております。

1. 開催日 平成23年11月4日(金)
2. 場所 三島事業所 伊豆体育館

※詳細については別紙をご覧ください、同封の葉書にて出欠をご連絡ください

## 東芝ライテック見学会のお知らせ!

《東芝ライテック 沼津事業所(LDF)見学会のご案内》

会員の皆様からご要望を頂いておりました「東芝ライテック 沼津事業所(LDF)」の工場見学会を11月に計画いたしました。会員の皆様には思い出深い照明事業、今注目のLDF照明器具の現状等を知る良い機会です。

下記要領にて参加者を募集いたします。皆様、こぞってご参加いただきますようご案内いたします。

— 記 —

1. 実施日：平成23年11月15日(火) 14:00~15:30
2. 集合時間：13:30までに現地集合
3. 集合場所：株式会社LDF 沼津工場(東芝ライテック 製造子会社)  
住所 静岡県沼津市原2608-58  
TEL 055-968-8393
4. アクセス：JR東海道線 原駅(駅よりタクシーのご利用が可能です)  
JR下り 原駅着時刻 13:00(鳥田行き)、13:15(富士行き)  
※自家用車ご利用の場合は駐車場利用可能台数が10台と限りがあります。  
相乗り等ご相談いただき、申し込み時にご連絡ください。調整させていただきます。
5. 申込先・方法  
下記いずれかに指定の方法で、住所・氏名・TELをご連絡下さい。  
申込締切は平成23年10月14日(金)

OB会 事務局		東芝テック 総務部 酒井 賢治	FAX : 03-6422-7111	E-mail Kenji_Sakai@toshibatec.co.jp
支 部 会 員	三島・函南支部	藤田 秀明	TEL : 055-971-3332	
	駿東支部	東 高司	TEL : 055-975-7609	
	沼津支部	友久保義昭	TEL : 055-932-4583	
	伊豆支部	島崎準一郎	TEL : 0558-72-3681	
	伊豆の国支部	菊池 重生	TEL : 0558-76-0916	



# 会員の広場

## 第二の人生を楽しむ

～秋津正敏さん～

庭には薔薇やクレマチスが咲き誇っています。何と生命力に溢れているのでしょうか。一度は枯れそうになり、場所を移し換え、十分に水を与えて生き返りました。これからは毎年咲いてくれるでしょう。

私たちの人生も同様で途中で弱まることは結構あるものです。私はストレスで身体を痛め、癌宣告を受けました。5年前のことです。肉体面で健康を維持するには規則正しい食事と脂肪を燃烧させる為の運動、そして睡眠を十分とることが最大のポイントです。食事量のバランスは朝食5、昼食3、夕食2が良いと考えております。食事は早食いせず、よく噛み、野菜を中心にとると体調が保たれます。

精神面で大切な事は、美しい物に感動し、生活を楽しみ、そして希望を持ち、日々を楽しく生きる事ではないでしょうか。今は完全に回復し、充実した生活が出来るようになりました。

そして、日々、文化・芸術活動です。中でも創造活動は脳の血流に良い影響を与えております。特に趣味における創造活動は効果があると思います。そして、創造活動は生涯につながり、日々が生き生きとしてきます。植物も人間も生物という点では同じで、いつまでも健康的、躍動的で自分らしく生活し、人生の花を咲かせたいものです。

62歳を過ぎた今、好きな趣味に没頭できる日々を送れることに感謝しております。定年後こそ、



(クレマチス)

最も人生を楽しめると言われております。私も大いに楽しみたいと考えております。積極的な新しい人間関係を作り、孤立しない生き方こそ肝心でしょう。新たな地域関係を模索する事は無条件に人生にプラスになります。今まで、地域ボランティアとして、交通指導員、不法投棄監視員 等をやらせて頂きました。おかげで目的外の副産物として地域の方々と親睦を深めることができました。

このほど、地域に密着したOB会伊豆支部が設立され、正に人生をよりよく充実したものにする為の足掛かりとなる様に積極的に仲間入りしております。

## 私の生涯の趣味について

～鈴木賢太郎さん～

最初に、この3月の東北・関東の大地震・津波及び福島原発の事故で、災害に会われた方々に心からお見舞いを申し上げます。私がTECに入社したのは1955年4月で、それから1992年5月までの37年もの長い間、上司・同僚・後輩や関係者の皆様に大変お世話になり心から感謝しております。それからもう19年が過ぎて、歳もこの5月で80歳になりました。

私は少年の時から海が大好きで、横浜の海で海水浴を楽しみました。学生時代には小型ヨットで合宿やの国内の多くの大学とのレースなど海で過しました。4年生の時に国体の神奈川県代表になり、総合優勝の一端に貢献できました。OBになってからは大型ヨットで、いろいろな海の経験をしました。沢山の経験のうち2～3の話をご紹介します。

70歳の時にヨット同期の友人6人と国際レース「2001タヒチカップレガッタ」に参加しました。レース海域はタヒチのリーワード諸島の4つの島の間です。これらの島はすべて環礁で囲まれているので、島の出入りは必ず環礁の狭い切れ目を通ります。レースは約6時間かかりますが、危険防止のために、夕方4時までには次の島の環礁内に入るのがルールになっています。島から島へのレースが終わると海岸で国際色豊かなディナーパーティーが行われて、レースの厳しさを忘れさせてくれます。例えば、第1レース後のパーティーでは、お皿・箸など食器類が無くて、お皿の代わりに木の葉を使い、手で食べ物をつまんで食べ、終わったらゴミ箱に捨てて、洗剤も使わずに自然に帰すというエコそのものでした。その日にとった魚の刺身、野菜や果物を新鮮そのものの味を楽しみました。飲み物はビールがありますが、上陸時に大きな椰子の実に穴を開けてストローを入れたものを一人に1個くれて、飲みきれないほどの量でした。島には栈橋がないので、小船に乗り換えて浜に上陸します。約10日間はヨットをアンカーリング（錨泊）してヨットに泊まりましたが、貴重な経験がありました。夜の月明かりの中でシャワー（にわか雨）があって、夜の虹を見ました。



赤色系が少なくブルー・みどり系の綺麗な虹で感激しました。訪れた島々のうち、ボラボラ島は評判通り海の色や自然が素晴らしい所でした。

後日談ですが、2009年に、同じメンバーが奥さん同伴でもう一度タヒチに行こうとの話がでましたので、大型帆船“スターフライヤー”（総トン数3000トン・4本マスト・日本丸と同じ大きさの客船）を選んでタヒチに行きました。この船は帆船としては世界で最高速として知られています。風上に向かって走る性能も素晴らしく昼間だけで無く、夕方や夜間も帆走して、夕暮れの夕日の美しさなどを観賞しながら懐かしい島々をめぐりました。

タヒチのパペーテで乗船→モーレア島→ライアテア島→タハア島→ボラボラ島→ファヒネ島→モーレア島→パペーテに帰着

それぞれの島は海も島も自然が豊かで、東京の雑踏を忘れさせてくれました。

ボラボラ島では、エイと遊んだり、マンタを見たり、シュノーケルで群れをなす熱帯魚を見たり、綺麗な海に入って楽しく遊びました。船内の食事は旅行費に含まれているので無料です。ビールやワインは有料ですが、船上はNoTaxなの



で、おいしいワインを割安に楽しめます。アルコール以外の飲み物も無料で乗船中はいつでも食事やコーヒータイムをゆっくり楽しむことができ、約10年ぶりでゆっくと楽しく過ごしました。この旅行で、少々気になることがありました。タヒチ島パペーテで泊まったホテルが一流ホテルでしたが中国系の経営になっている様子で、食事の質があまり頂けないレベルになっています。中国からの団体旅行と往復の飛行機で一緒になりましたが機内やホテルでのマナーがよくありませんでした。韓国からの若い女性のグループがいましたが、礼儀正しく好感がもてました。また、島々が観光のための開発が進み、自然が大分壊されています。それでもまだ海はとても綺麗です。もし、お出かけになるなら早い方が良いと思います。

次にオーストラリアのグレートバリアリーフのヨット旅行をご紹介します。タヒチレースの翌年、同じく同期の仲間とオーストラリアのグレートバリアリーフにセーリングホリデーとして双胴のヨット（カタマラン）をチャーターして楽しみました。

場所は、オーストラリア東側のハミルトン島のリゾート地にヨットの基地があって、そこでヨットをチャーターします。そのヨットに泊まって旅行します。

このヨットが大きくて、キャビン内では円形テーブルに6～7人がゆったり座れて飲み食いが出れます。またデッキの後方にある円形テーブルも同じ位の大きさなのでゆっくとできました。飲み物はビールやワイン・ウイスキーなどたっぷり積んで行きましたので、デッキやキャビン内の円卓で飲み食いを楽しみました。ホワイトヘブンという名の大きな白砂の海岸や現地人アポリジニの遺跡などがよい状態で保存されている島があるので、自然豊かな景色が楽しむことができます。

島々には港がなく、島影に錨をおろすか停泊用のブイに繋留して停泊します。いたるところに、釣り、シュノーケルなどのポイントがあるので、適当なところに船を止めて楽しみました。釣りでは食べきれないほどの魚が釣れて、焼いたり、生

のまま刺身で食べたりで、新鮮でおいしく、お酒もおいしく戴けました。シュノーケルでは、どこでも熱帯魚が沢山で、自然を楽しむことが出来ます。

この地域では自然の保全のため、2～3の限定された島以外には建造物が禁止されていて自然が保持されています。従ってお店もレストランもありませんし、人も住んでいません。また、島には船着場がなく、自然のままの浜辺に小船を着けて上陸します。そのため、この地域を巡るヨットは必ず小船を持ってセーリングします。オーストラリアの人達が子供ずれの家族でヨットに乗って島巡りをしているのによく出会いました。オーストラリアの人達はこのような自然を楽しむ旅行を日常的にやる人が多いようです。チョット日本では考えられない世界です。

私達はヨットの操縦ができますが、できない人でもクルーを雇えば楽しむことが出来ます。ご希望があればご紹介します。

このほかヨットで新潟からロシアのウラジオストクへのクルージング・バハマやハワイのワイキキヨットクラブ訪問などヨット関係の旅行の他、大型客船での旅でウクライナのヤルタ訪問やモロッコのカサブランカやスペインのカナリア諸島への旅などを体験しました。これらについては機会があったら、ご紹介いたします。

ヨットや帆船などの旅では、普通の旅行では経験できないところに行くことができ、海や島の自然などの新しい経験が出来ます。

海にかかわる経験で世界のほんの一部ですが、多様な文化にふれることができ、大変勉強になりました。

大震災の復興・原発事故の終息の行方・政治のだらしなさなど不安が尽きませんが、この稿が出る頃には、早期の復興と安心のできる世の中になっていることを祈りつつ、これからも生涯の趣味を楽しんで行きます。皆様のご健康をお祈り申し上げます。

## 仲人を囲むOB会

～土屋孝一さん～

私は約40年テックにお世話になりましたが、その内20年は三島工場で、その時期に電子機器の新製品開発、製造、品管などを一緒に携わった新進気鋭で前途有望の青年20人の仲人を依頼されました。

あれから40年、ほとんどの方が既にOBとなり、中にはお孫さんがいる方も何組か居りますが、揃って御達者。私達夫婦も傘寿、古希を過ぎたがお陰様で何とか元気なので、今のうちにもう一度皆が集って昔を偲び近況を語り元気を交換し合おうと幹事の皆さんのお骨折りで去る5月8日に三島プラザホテルで【仲人を囲む親睦会】を開きました。

当日は、生憎く所用と重なり欠席の方もおりましたが奥様同伴を含む計21人が集まって隠し芸やビンゴ、二次会はカラオケ大会と賑やかで楽しい思い出に残る一夜でした。

歳をとると、東日本大震災など想定外の嫌な災害や事故に遭うことも多くなりますが、一方こうして思いがけなく懐かしい人達と会える機会も多いのは喜ばしい事と思います。

皆さん共々これからも健康で居て、次回は私が米寿か卒寿の時にまたお会いしましょうとの幹事さんの閉会の辞が嬉しくて、これからもガンバロウと意欲が湧きました。



仲人を囲んで：昔は、職場結婚が多かったので、奥様がテックOBという方も何人かおられます。

## 定年10周年の近況報告

～藤井孝俊さん～

早いもので平成13年5月に定年退職して、10年を経過し古希を迎えました。この10年間、会社勤務生活では体験できなかった、多くの事柄や多くの人たちと触れ合うことができ、自分なりに充実感のあった年月であったと思います。それらの一部を近況報告の形で紹介させていただきます。

1つは畑・菜園との出会いです。余り前向きな気持ちでの動機ではありませんでしたが、菜園体験を重ねるうちに、一粒の種、小さな苗の生命が日々成長する過程の楽しみ、それらを育む土壌

に大きな愛情を感じての土壌改善、施肥、除草等の作業も苦と感じる事はありません。又、農家の方からの助言を通しての交流も有意義なものです。勿論、無事に生育した収穫の喜びは格別なものです。これからの体験を通じ、自分自身の中にある感性の意外性を発見する事ができました。残念ながら、現在は勤務の都合で一時休止状態にあります。

私は、現在「重要文化財 江川邸」（法人 江川文庫）に管理主務担当者として勤務をしております。



ます。ご存知の方も多いと思いますが、「重文江川邸」は約9,000坪全体が国の史跡指定を受け、その中に12の国の重要文化財の建造物を有している施設です。更に2～3年後には、10年間の検索を終えた古文書等約5万点の内の2万点も重要文化財に認定される予定です。又、江川家は現在も続いており42代当主は世田谷在住です。ちなみに40代当主故江川秀晴氏は東芝副社長でした。先祖は約800年前（9代当主）に大和の国（奈良県五条市）から13人の家来を伴い葦山に来られたと伝えられています。以後頼朝・北条・後北条に仕え、28代～38代までの11代に亘り、徳川幕府の始めから最後まで270年間世襲代官を務め、更に江戸と葦山に代官所を授かり、武蔵国を含む5つの国、延10万石の管理をしておりました。特に有名な方は、36代当主江川太郎左衛門英龍で、幕末のペリー来航を機に幕府からの強い要請で代官兼務で、「海岸防備」推進に奔走し、西洋砲術導入・反射炉構築・鉄製砲の鑄造・台場構築（お台場）・造船・パン食導入・農兵制度、海軍創設建言等多くの功績を残されています。

その他にも、「日蓮上人と火伏棟札」「千利休と葦山竹」「北条早雲と葦山城」「松平定信・谷文晁と伊豆検分・江川家」「江川塾と塾生……黒田清隆・大山巖・木戸孝允・佐久間象山・久坂玄瑞」「同志・他……渡邊崋山・高野長英・高島秋帆・ジョン・万次郎・川路聖謨等々」「葦山県と県知事」等の多くのいわれが残されています。更に興味のある方は、OB会のホームページに掲載させていた

だいておりますのでご覧いただければ幸いです。

国の重要文化財の保全維持管理に大きな責任を感じると同時に、多くの文化財、史跡そして偉業の多くを目の当たりに見聞できる喜びを実感しております。そして日本各地からお見えになる多くの来邸者との出会いや、同年代の来邸者と交わすわずかな時間の会話から、豊かで確かな人生を歩んでこられた方を見ると、羨ましく思う事も多々あります。これらの貴重な体験は、退任した後にも気持ちの中で大事にして行きたいと思います。

最後に皆様方のご健勝を願うと共に、伊豆へのお出掛けの際は、是非お立ち寄りいただければと思います。「江川邸」はロケのスポットでもあります。多くの映画ロケやTVロケそして取材ロケに使われています。最近では「篤姫」……生家今和泉家「仁・JIN」……医学館



「篤姫」にエキストラ出演

## 近 況 報 告

～小泉信三さん～

東芝テックOB会員の皆様そして現役の皆様、ご無沙汰しておりますがお元気ですか？このたびの「東日本大震災」により被災された皆様には、心からお見舞いを申し上げます。大変な復旧・復興活動の中、原発事故による節電対応などもあり、御苦労が続きますが、何とか克服していきましょう！

さて、私事になりますが、早いもので退職後2年になります。この機会に皆様に御挨拶方々、近況を御報告させていただきます。

競争社会のストレスから開放され、漸く辿り着いた「黄金の第二の人生」を楽しもうといろいろな挑戦して参りましたが、未だ試行錯誤している状況です。今のところ最大の贅沢は、マイペースで晴耕雨読が可能な時間的余裕です。毎日気ままにやりたいこと（読書、語学、散策、ゴルフ、園芸など）に没頭できることに、ささやかな幸せを感じております。

10年前（北京駐在中）、仕事に恵まれ過ぎた代償として糖尿病に仲間入りしてから、健康第一に



愛犬と

心がけています。特に、10km/日を目標に歩くことに情熱を傾けております。概ね3つのコースから天気・体調に合わせて選択し実践しています。近隣コース（1～2時間）は、図書館・岡村公園、近郊コース（3～4時間）は、横浜・みなとみらい、そして郊外コース（5～8時間）は、金沢自然公園・鎌倉です。今まで見過ごしてきた季節の移ろいや隠れた文化遺産に目を向けると、自然に心が癒され充実した気分になります。

ゴルフを定年後に再開し、専ら会社OBと旧交を温めたり、運動不足解消のため月一回程度のペースでやっています。幸運なことに、昨年7月那須塩原CCで初のホールインワン達成を目撃し、大興奮しました。時折その疑似体験を思い出し、余韻に浸っています。

また、登山のベテランと一緒に2年連続で夏山登山（八ヶ岳の編笠山・権現岳）に挑戦し、絶景と爽快感を堪能しました。今年も日本百名山の何処かに登りたいと思っています。昨年秋、“中国世界遺産探訪隊（自称）”に加わり、華南（江西省・廬山、福建省・武夷山など）を巡り、漢詩の世界に想いを馳せつつ悠久の景観・歴史に感動を覚え

ました。今後も世界遺産の旅に出かけ、国際交流や見聞を広げて行きたいと思っています。それに備え、日頃から基礎的な語学や異文化（中国の言語・文化など）の学習を続けています。

園芸は、小さな庭で花卉や野菜などを鉢・プランターに植えたりして楽しんでおります。「いつか里山の畑で俄か農業（自然農法）をやってみよう」と遠大な夢を描いています。

ところで、大震災・津波で家族を失った被災者が一生懸命生きる姿を目の当たりにし、涙腺が緩み人生について自省させられました。結びに、震災後の心境、雑感を付記します。

大震災後、救援の輪が広がる中、TVで繰り返し流されたACジャパンCM（心は見えないけれど「心遣い」は見える……）に含まれる大変示唆に富むメッセージに衝撃を受けました。我が人生を振り返ると、会社人生は、諸先輩や同僚の御支援・御協力のお陰で、一定の達成感と感謝の気持ちで一杯です。反面、心の余裕や勇気がなく、家族や周囲の方々に対する「心遣い」・「思いやり」が出来なかった……と反省しきりです。これからは、感謝の心（沢山の人に支えられて今の自分がある）を忘れずに、少しでも「心遣い」・「思いやり」が出来ようになりたいと思っています。まずは、人に迷惑をかけないことを基本に、身近なところで、自分を支えてくれている家族と関係者に感謝の気持ちを伝えるなど、「温かい心を行動で示す」ことから模索していきたい。今、ペット（後期高齢犬）とのスキンシップを深めながら、次の一手を熟慮しているところです。

最後に、OB会員の皆様の御健勝と現役の皆様の益々のご活躍をお祈り致します。

## 借りを返す生活

～上杉一芳さん～

万人に公平な時間。でも、加齢と共に過ぎ去る一年の速さの違いを実感しています。特別な趣味などに没頭している訳でもないのに、過ぎ去る一年の速さ……。

今年も北風の冷たい冬から、桜の花弁が乱舞する春が過ぎ、じっとりした梅雨の季節に移り変わり、速くも一年の折り返し点。時間は休むことな

く大河のように流れ、新しい月・年を迎え、過ぎてゆきます。このような時間の流れのなかで、漠然とした焦燥感をふっと思い、日常生活を送っています。

現役時代を振り返れば、家庭の細々としたことは女房任せ。現役を外れた今、細々とした仕事を女房から教わり、その仕事も女房から譲られ、や



ってみると結構な仕事量。実際「仕事して初めて分かる仕事かな」を体感しています。

今は女房が家事の先生。謙虚に教わり、女房の手助けが出来ればと思っております。

現役時代の借りを今、返しています。

最後に……この三月、千年に一度といわれる未曾有の東日本大震災が発生。この大震災は、地

震、津波、原発事故による大被害を惹き起こし、自然災害の凄まじいエネルギーを見せつけました。今回の大震災は、人類の驕りを反省し、自然と謙虚に向き合うことを教えています。

被災地そして被災者の皆様、一日も速い復旧・復興をお祈り申し上げます。

## ある出来事について

～佐藤久夫さん～

今回、出稿を依頼されて、テーマを色々探した。最初は小生の反省の伴いとなった宿痾の頸椎症の経過を書こうと思ったが、余り愉快的話ではないので、他にないかと考えていた所、小生が東静にいた頃遭遇したある出来事について物語る事が適当との考えに至りました。

東静電気は現在もそうであるが、業務用のクリーニング機械を作っています。クリーニングには一般の洗濯と同じ水で洗う水洗機とドライクリーニング用の機械があります。

ドライクリーニングは皮脂等の汚れを落とすと同時に羊毛等のウールの製品の縮み・シワを防止するためのものです。昔はガソリン等を使っていたらしいが、火災を起しやすく業務としては行われていなかったようである。一般的には次のものが主流であった。

1. 洗浄用石油（軽油に近いもの）
2. フロン

この内、フロンは仕上がりがよく、風合いも良いので大手のクリーニング業者では盛んに使われていた。

電子部品、機械部品の洗浄には必須のものであったが、昭和60年代に入り、オゾンホール消滅の問題が持上り、槍玉にあげられて規制を受けるようになったのはご存知のとおりである。

東静もドライ機は手掛けていたが、フロンマシンは色々NOWHOWが多く、欧州のメーカーにOEMをしていた。ここに至って俄かに石油洗浄が見直され、クリーニングは石油一辺倒となった。水と違って、石油は使い捨てができず、使っている中に汚れてきます。今迄は洗浄油メーカーに廃油を引き取って貰って新しい油を購入してい

るのが大半であったようです。大変手間と経費が掛ったらしい。

この中で心ある業者はこの問題を解決すべく油のリサイクルを考えるようになり、設備の引合いが増えてきました。他方、産業界でも非常に困り、蒸気洗浄、ガソリン洗浄、水洗浄等、色々テストが行われて石油洗浄機が日の目を見る事になりました。

ここで廃油処理が問題となり、上述の設備が脚光を浴びてきました。これは真空加熱蒸留機といい、廃油を加熱して真空ポンプで吸入し、廃油を気化・液化して残骸を処理するものです。

最初は細々とやっていたのですが、色々引合いが増えてきたのでデザインも内容を含め一新しました。

大手の機械メーカー、電機メーカーから引合いがきました。東芝はシリコン系の石油洗浄油を発売していたので、東静のものが指定マシンとなりました。

仲々評判もよく、テックで制御機を扱っていて、東静に来た連中は大手メーカーに行っても上座に通されて今迄とだいぶ待遇が違いうれしかったと喜んでいました。

世の中、色々問題が起こると規制が発生しますが、考えようでは新出発のターニングポイントになると考えました。今でも一定の需要はあるようですが、大分昔の話になりました。



## 今を大切にしたライフスタイル

～北村義雄さん～

我が家には寝に帰るような毎日であった通勤から開放（H17年6月退職）され6年が経ち、時の移ろいの早さを感じております。

退職を期に永年母を介護し、看取ってくれた心根の優しい伴侶からの私への唯一の願いは、「運転免許」の取得でした。周囲の50%は事故を案じて反対でしたが、妻への償いのつもりで62歳の誕生日に免許を取得しました。

◆退職早々に病に罹る……運転免許取得後に激瘦せし、病名が判明せず「ガン」を疑い、一時は黄泉への旅立ちも覚悟し、娘の結婚を6ヶ月程早めました。結婚式後の月末に甲状腺亢進症（バセドー病）と判明、安心したのも束の間、加療中に免疫力の低下から、带状疱疹に罹り痛い思いをしました。

◆ドライブ旅行で夫婦円満に……運転免許の取得で行動範囲が広がり、夫婦の共通の話題も増え、旅先で新たな知己も得られ人との絆を深めています。

①群馬県の万座温泉と草津温泉には毎年3回は訪れ、延べ10日程の滞在。温泉好きの方に数種の源泉を有する万座温泉の「日進館」をお勧めします。

②福島の裏磐梯の「五色庵」の“そば”は絶品、これも食する価値があります。

◆隣家の犬の散歩で自分を再発見……心臓病を患っている隣家のご主人に代わり、柴犬との朝晩の散歩が日課になり、多くを学び地域の絆が深められました。

①不審者と疑われる事もなく、多くの犬友達（主にご婦人）と知り合いました。

②朝晩の規則正しい生活、意外にも近所の幼稚園児が同行するようになりました。

③動物（子供&犬）に好かれる自分を再発見（犬のトリミングや風呂入れ）

◆転居を断念、大掛かりなリフォーム……65歳までに「日本のふるさと」と謳われる長野県の安曇野市への転居を考えていましたが、培ってきた人の絆を経ちがたく昨年9月に断念。今の住まいを終の棲家と決めてリフォーム



栃木県「足柄フラワーパーク」にて H23-4-8

ムをしました。

◆「韓流歴史ドラマ」に熱中……ケーブルテレビに加入し、歴史ドラマの虜になり、高じてこの5月23日から5日間、韓国の史跡を訪れ歴史探訪をした。併せて北朝鮮との国境を訪れ、国際情勢(?)の視察もしてきた所です。

◆孫娘を溺愛、爺バカ振りに周囲の驚き……2歳の孫が愛おしく、一緒にお風呂に入り、オムツを換えたりする姿に、家内と娘が“定年前には想像もしなかった事だ”と、その変わり様に驚いている有様です。

◆労組OB会や小学校のクラス会幹事(事務局)を務める……

①労組OB会である「テック 悠遊友の会」の発足（H18-10）

※労働組合運動を通じて活動した同志が集う親睦団体として設立

※会員資格は、昭和43～63年代に本部労組の役職員を務めた方を対象とし、同じ時期の支部役員経験者の加入希望者も会員になっている

※総会は毎年11月に伊豆と東京の隔年毎の開催～今年は東京開催～

② 定年を期に、疎遠の嫌いがあった小学校のクラス会を立ち上げ、毎年3月に開催している。残念な事に3年間で級友4人が鬼籍に入り、幼友達の早世には命の儚さを思い知らされ格別の寂しさが募ります

◆地域（町内会）との交流……在籍中は遠くに

感じていた地域のことが近くに感じられるようになり、社会貢献・地域活動の一端に参画しております。

※町内会組織（世帯数：1,622軒／人員：3,858名）

- ①町内会の定例会：毎月第1日曜日
- ②ストレッチ体操：毎月第1・3金曜日に2時間
- ③史跡巡り（健歩会）：毎月第3土曜日に名所旧跡、仏閣等の探訪
- ④公園の清掃：毎週水曜日 7：30～

#### ⑤ 資源回収：毎月第3木曜日

この度の東日本大震災による被災映像や報道を見聞きするにつけ、心が痛み思わず涙します。この震災を経験して、当たり前で日常生活が送れる幸せ、生かされていることへの感謝の気持ち、今を大切に過ごしながら「人の絆」を深められる我が身の幸せをしみじみと感じている今日この頃です。「家族の絆」「嘗ての仲間、地域の皆さんとの絆」を大切に、与えられた人生を歩んで参りたいと思っております。

## LOHASの生活

～鈴木審平さん～

テック電子との合併広報が終って暫く後に別の会社へ移り、61歳からは翻訳や翻訳学校講師、辞書にない英語の辞書作りや各種研究会のメンバーに加わり、文字通り貧乏暇なしの日々を送ってきましたが、それなりに刺激のある生活をマイペースで楽しむことができました。

お金は稼げなくても金持ちを羨む気持ちはありませんでしたが、今回の震災でソフトバンクの孫社長やユニクロの柳井会長が百億円、十億円と個人で寄附したと聞いた時は、金があることではなく、その金の使い方とまさに堂々たる人生を心から羨ましく思い、深い敬意を抱きました。当方は、いち早く三千円を日本赤十字に振り込んだのが関の山でした。

現役社会に触角を出しておこうと参加しているマーケティングの研究会で、先日、講師が若いビジネスメンたちに「バブル崩壊から20年。皆様は

プラザ合意という言葉を経済史で聞いたと思いますが」などと話すのを聞いて「我老いたり」と感じました。それでも、最後まで健康に長生きするLOHASのライフスタイルを心掛けています。

マーケティングの世界では厳しい市場環境の中で売上高を見つめるPOS情報への関心が改めて高まっているようです。販売店パネル調査やハンディスキャナーを活用する消費者調査を駆使して国内市場を分析するインテージ社の株を僅か百株持つだけで貰える花の券を使って、花屋さんの若い女性に選んでもらった花の寄せ植えを小さな植木鉢で楽しむようなささやかな安らぎを、できるだけ大切にして、若さを保って暮らしていきたいと考えております。

注) LOHAS=Lifestyle of Health and Sustainabilityの略  
インテージ＝一部上場 情報通信部門

# 支部ニュース

## 駿東支部

### 支部総会

駿東支部が活動を始めて三年目の総会が開催されました。総会に来賓として出席された杉之内OB会会長から他の地域でも支部設立が進んでいること、沼津支部、伊豆支部、伊豆の国支部等が立ち上がりこれからOB会の活動も地域から裾野が広がると期待をこめたお話がありました。また会社の売上げ状況や株価等についてもお話が及びOBの皆さん会社を応援をしましょう、そして会社にはOB会への援助もしっかりお願いしたいと挨拶されました。また事業所を代表して松山グループ長から会社の事業内容や製品の市場状況など丁寧な説明を受けました。

支部活動報告では定例の支部総会及び懇親会の実施の他、地元の湧水せせらぎコースのウォーキングや大仁工場見学会、静岡事業所三島納涼祭への参加等、少しずつ仲間との交流の場を増やして来たことが報告され22年度会計報告、23年度活動計画等を含め議案は全員一致で承認されました。

懇親会は青木さんの乾杯で始まり、会員それぞれが現役時代の思い出や趣味の話、はたまた病気の自慢話などに花を咲かせ楽しいひと時を過ごしました。

その中で報告された近況の一部をご紹介します。

#### ボランティア

Sさん：柿田川の自然保護のボランティアを25年以上やっている。毎朝5時に起きて公園の清掃をし、朝食後また公園に戻り観光客に柿田川の素晴らしさを説明することが日課で私の健康法。

今回、柿田川湧水群が国の天然特別記念物の指定を受けることが決まりこれまでの努力が報われたと思大変嬉しいです。

Sさん：県立がんセンターへの道ばたの花は私達が育て植えている。地域でお花の会を20名位でやっているが







病院への道、通う人に綺麗に手入れされているねと言われると嬉しくなる。パッチワークも趣味でやっている。

### 旅行

Yさん：家内の事情で会社の雇用延長を打ち切り早期退職した。長男夫婦と孫との同居。昔の仲間が高砂会という飲み会をやっているがその仲間スペイン旅行に行って来たがとても楽しかった。

これからはOB会への参加も楽しみにしている。

Mさん：私の近況はOB会のホームページに日記を載せているよかったら覗いて頂きたい。2月に知床の流水を見に行った。流水も良かったがオーロラファンタジーが素晴らしかった。7月にはベトナム、マレーシアに行く計画があり今から楽しみにしている。

### 趣味

Tさん：退職して10年になる、テレビの子守ばかりではいけないとボケ防止に切り絵を始めた。

専用のカッターを使用するが作品が出来上がるたびに腕も上がり楽しみも増えるので皆さんにもお勧めです。



## 東北大震災

Aさん：東北大震災で被災された方々は大変な苦勞をされている。その報道の中でクリーニング車のボランティアが写されていた、あの時の東静電気のデモ車がこんな形でお役に立てて感無量だ。

### 初参加（3名）

Fさん他：まだ現役で仕事をしている。元気な間はと思ってやっているがそろそろ疲れも感じるようになって来た。この総会は平日なので今回が初めての参加、懐かしい人に会えた、昔を思い出す。

その他の方々からもそれぞれ報告があり、未だ元気リサイクル会社で働いていますという方、私も働いている、アルバイトで仕事はいろいろ変わるが、そこでいろいろな人と出会えるのが楽しいという方、ウォーキングに参加したかったが草刈り中の怪我でリハビリ中など等、また今回の総会に仕事や都合で参加出来なかった方々からのメッセージも読み上げられたりで、お互いの近況を確認しあい和やかな楽しい懇親のひと時を過ごしました。

## せせらぎウォーク

会員からの要望もあり地元の名勝地を歩こうと計画されたウォーキングは昨秋の計画が台風で延期になり、桜の咲き始めの4月2日に再計画され総勢11名の参加で三島駅から出発しました。計画してくれたのは支部幹事の石井さん、長橋さん。当日は朝から晴天に恵まれ、愛染小路から白滝公園に入り小さな子供達からおはようございますと声を掛けられながら、湧き出る泉や桜川の流れを見てその先は楽寿園南口の源兵衛川遊歩道に降りて行く。

川沿いに丸や角型の置き石の歩道が作られていて清流を歩く心地よさに浸る。川との調和が見事な家々の庭先を鑑賞しながら歩いていくと程なく道を隔てて広小路の三ツ石神社に着く。そこには鐘楼があり江戸時代に三島の宿場に時を知らせていたことが記されており往時を偲ばせる。さらに川に沿って歩いて行くと水

の苑緑地。ここにも湧水があり去る昔は吉野水苑と呼ばれた和食料亭の跡地、そこでは大勢のアマチュアカメラマンが一羽のかわせみを夢中で撮っていた。かわせみはと見ると止まり木の枝先から川の中へ幾度と無く飛び込みを繰り返してカメラマン達を楽しませている様子。デジカメではアップで撮れないのが残念。その下流ではOBの方が川掃除と梅花藻の手入れをしておりしばし立ち止まり歓談そこから次の湧水地へ向かう。境川・清住緑地へは三島工場北側を通り三島市から清水町に入る。清住緑地の湧水地には群落は小さいが元気のいい梅花藻が生息していて夏場は見事だ。昔は周りの田んぼは自然のまままで香り豊かな田芹がたくさん取れたが今は遊歩道など人手が加わってなくなってしまった。

境川は言わずと知れた伊豆の国と駿河の国の境の川、頼朝が領地争いを裁定して定めたと伝わる。隣合わせの丸池には枝垂れ桜が咲き始めていた、記念の写真を一枚撮る。

池の中央部の遊歩道から北を振り向くと富士山も顔を覗かせていて湧水の源であることを誇示しているかのよう。源兵衛川も丸池も富士山からの湧水を貯めて温めて灌漑用に用いた先人達の工夫の跡、頭が下がる思い。そこから10分で目的地の柿田川湧水公園だ。そこには地元では有名な我がOBのSさんが待ち受けていて、やあやあと挨拶、早速、あらためて柿田川の貴重な自然とミネラル豊富な名水100選の湧水の成立ちを写真片手に説明してくれた。長年の自然保護のボランティア活動に誇りを持っておられ元気一杯のご様子。その後公園のテーブルを囲み皆で弁当を食べて解散となった。参加してくれた皆さんご苦労様でした、次回は裾野市方面で計画予定。





## 伊豆支部

### 支部設立総会

春爛漫の3月28日、折りしも東日本大震災後、計画停電があり開催が危ぶまれましたが、何とか伊豆支部設立総会を開催しました。伊豆支部は伊豆市内の方々に構成されています。伊豆市は旧修善寺町、中伊豆町、天城湯ヶ島町、土肥町から成り立ち、合併後早7年経過しました。伊豆市は面積が広く、静岡県下では4番目の広さの自治体です。狩野川本流、支流を中心に生活しています。静岡事業所（大仁）のある伊豆の国市とは隣接しています。構成会員は他支部とは異なり、テック発祥の地であることから大仁／三島の出身者が大部分ですが、東芝ライテック、本社営業の出身者もいます。（会員数77名）



設立総会は静岡事業所（大仁）内第一研修室で午後2時から開催されました。参加者は28名で多くは1時間も前から集まり久しぶりの再会を喜び合っていました。総会に先だち、東日本大震災の被害者に黙祷をしました。開会后、支部長挨拶の後、来賓の杉之内会長より支部設立に至る経過報告及びOB会の現状、将来への期待等が熱を込めて話されました。次に事業所を代表して秋山総務部長より会社の近況報告がありました。議題に入り支部長より活動方針、予算の提案、新役員の紹介があり一括承認を受けました。閉会后、記念写真を撮り、希望者の工場見学、懇親会へと続けました。時節ながらアルコール

は抜きでしたが、懇親会は根岸元三島工場長の乾杯で始まり、短い時間ではありましたが、わきあいあいと、楽しく、昔話や最近の話をしました。会の最後に東日本大震災義援金を集め、僅かではありましたが静岡新聞を通じて送金しました。（16,800円）

伊豆支部の課題はやはり会員の加入促進です。テック発祥の地であることから親子代々のテック出身者も含め、多数の未加入者がいます。伊豆支部が出来たことで、きめ細かな活動を通じて支部の魅力を未加入者に伝え、一人でも多く会員を増やそうと思います。





## 今後の行事計画

- ①東芝テックOB会総会（本年は三島）への参加
- ②ウォーキング行事  
（秋の天城散策と温泉入浴：11月下旬）
- ③支部総会及び懇親会の開催（2012 / 3～4月頃）

## 支部役員（14名）

支部長 島崎準一郎 支部会計 秋津正敏  
幹事 山下静男 小野豊昭 板倉 明 土屋 守  
片山 将 矢込修二 廣川利春 月出祿久  
長谷川清 飯塚輝芳 田村芳之 杉山和義



## 三島・函南支部

### 三島・函南支部総会

4年目を迎えた三島、函南OB会総会が5月18日東芝テック静岡事業所（三島）にて開催されました。開催に先立ってこの度の東日本大震災で被災された多くの皆様に、心より黙祷をささげました。又、会場入口に募金箱を設置しましたところ、多くの会員からの志をいただきましたので紙面を借りて御礼申し上げます。

#### 第一部 総会

##### 藤田支部長挨拶

東日本大震災において被災されました多くの皆様にお悔やみ申し上げます。このような状況において総会をやるべきかどうか悩みましたが、OBの元気さを応援メッセージとして伝えたいということで実施しました。今年度の重点施策として

##### 業務の効率化

通信費削減により、行事などを充実していきたい、そのための手立てとして支部連絡網をつくりました。今後、割り当ての担当幹事から電話、メールなどにより連絡することにしました。

（会員に対しアンケートを実施、今後それらも参考にさせていただきます）



支部長挨拶 藤田さん

## 会員獲得紹介年度

絆をさらに強固にし、コミュニケーションを図る“場”としてOB会があります。ひとりでも多く会員になってもらいたいので情報をお寄せいただきたい。

来賓 杉之内OB会長、秋山第三総務部室長挨拶

両氏から今おかれている会社の状況の説明があり、ついで今後のOB会への期待などのお話がありました。



来賓挨拶 杉之内OB会 会長



来賓挨拶 秋山第三総務部室長

## 議題

平成22年度活動・会計報告、会計監査、平成23年度活動計画が審議され、全員の拍手により承認されました。

続いて新幹事（杉村 茂、大坂規久）2名が紹介され、無事終了しました。

## 第二部 ストレッチ&体力向上運動

主旨説明後、講師として、総合型地域スポーツクラブ「エンジョイスports三島」インストラクター 竹之内 美子先生をお迎えして行われました。



## 第三部 懇親会

高橋会員代表挨拶に始まり、懇親会が始まりました。それぞれ昔話に花が咲き、時間の経つのも忘れ、楽しい一時を過ごすことができました。思い出を語りつつ再会を約して散会しました。



懇親会 挨拶 高橋さん



乾杯 土屋さん







中締めの難波さん

## グラウンドゴルフ&お花見

本年度最初の支部行事として、4月6日にグラウンドゴルフとお花見が行われました。東日本大震災の影響も心配でしたが、OBのみなさんの“元気さを応援メッセージ”として被災された方々に届けたいということで実施しました。

グラウンドゴルフは、天候にも恵まれ32名の多くの参加を得て行われました。あちらこちらで「バーディだ」「ホールインワンが出た」などの歓声があがる、一方ではなかなかうまくいかず苦勞している人など、いろいろの場面が展開されました。楽しい一時を過ごすことができ鋭気を養ったことでしょう。

さあ次は、31名によるお花見です。桜は3～4分咲きでしたが、一杯あれば花より団子です。ノミコミュニケーション?を図り大いに盛り上がり、あっという間に時は流れてしまいました。

満足した一日であったと参加者のみなさんは異口同音に話しておりました。

「また企画してほしい」という意見が多く、支部としてみなさんの要望にこたえながら一步一步前進していきたいと思いました。



“いざ決戦” 勢揃いした参加者



さあ、試合のスタートです





待望のお花見の始まり“乾杯”

## グルメ・ウォーキング

2011年6月18日（土）

梅雨の合間の土曜日、三島支部・函南支部合同のウォーキングが、OG/OB13名の参加を得て行われました。

当日は、JRの“さわやかウォーキング”と“ふじのくにご当地グルメまつりin三島”も開催されていたため、報道では3万人超が三島の街中に練り出したとのこと。

三島駅からスタートして、菰池、大場川、三嶋神社、源兵衛川、楽寿園を巡り歩き、日大三島校舎内に設けられたグルメまつりのメイン会場まで約7kmを3時間かけて散歩しました。

途中さわやかウォーキングの順路から外れて、地元の人しか知らないような路地を分け入ったりして。

三嶋大社と楽寿園の他、街中にも地元のグルメのブースがいくつか出展していて、2009年B級グルメ8位に輝いた三島コロッケだけでもいくつもの店が出ています。



行列のできている店を敬遠して、比較的すいている店のB級グルメを選んで、常に食べている状態が続きました。



ウォーキングでカロリーを消費するから大丈夫とみんな自己弁護しきりです。

途中、ウォーキングに参加しているOBや地元の知り合いにも遭遇し、いつものせせらぎ散歩とは違って賑やかな町歩きとなりました。

楽寿園には、全国区で有名な“かみつき猿ラッキー”君がいます。前回のウォーキングで見ることができましたが、その後の逃走劇以降、檻はカバーがかけられていて、再会できませんでした。

早くストレスから立ち直り、元気な姿を見せて欲しいものです。

ゴールの日大校舎のB級グルメ会場で昼食を各自取って解散ということになりましたが、昼時とも重なりどのB級グルメショップも長い行列で、会員はそれぞれ自分達の好みの列につき、一緒に食事することはできませんでした。

静岡県のB級グルメとして、三島コロッケ、富士宮焼きそば、浜松餃子、イカメンチ、しおかつおうどん、などどれも人気で、早々に完売の店もでています。

解散後、雨がぱらつき始めましたが、ウォーキング中は曇り空で、それほど暑くなく快適でした。ウォーキングというよりは、グルメ・レポートになりましたが、楽しい時間を過ごすことができました。

次のウォーキングにも、大勢のOG/OBの参加をお待ちします。



## 伊豆の国支部

### 支部設立総会

6月8日静岡事業所（大仁サイト）で、会員57名の出席を得て、「伊豆の国支部設立総会」を行い、全員の賛成の下で支部設立が承認されました。

総会に先立ち、懐かしい事業所の見学を行い、あまりにも様変わりした現場を見て皆さん戸惑いを隠せないようでした。

総会後の懇親会では、皆さん現役時代の話や健康の話などで情報交換もでき、和やかなうちに会は閉会となりました。





# 起業家紹介

## ☆ No.9 ☆ 58歳でコンピュータなんでも相談 有限会社コムネットを設立 70歳にして未だ技術屋魂健在 山下久吉氏



技術屋は、一般的に硬い、神経質などと言われますが、それは兎も角として新しい事への挑戦を使命とする故、負けずきらい、職人気質に通じる頑なな面が多少なりともあるように思われます。

氏とは、記者が20歳から30歳にかけて、同じ職場にいましたが、残念乍ら同一の開発チームで仕事をした事はありませんでした。しかし、優秀な先輩として機会あるたびに、意見をお聞きした記憶があります。その時の印象は、氏の明確な持論にまさしく技術屋魂を感じたものでした。

今回、本件の記載の依頼に関して、記者の準備した各項目に対し、丁寧なご回答を頂きました。これまでは、なんらかの編集をさせて頂きましたが、以前と変わらない技術屋魂を感じ、以下ご本人の記述をそのまま掲載させて頂く事にしました。

### 【在職中の思い出】

色々の商品開発にチャレンジさせて貰った事です。電気炉制御装置、拡散炉の開発製造、道路公団霞ヶ関トンネル等の無停電非常電源装置、郵政省窓口端末機の開発、郵政オンラインシステムを当時の電電公社と立ち上げたこと、3社協同開発と一緒に開発に携わった他社のメンバーとの思い出、今でも交流があります。

ファーストフード向けPOSシステムの開発、それを持ってアメリカへ紹介に行ったこと。

アメリカで現地の他社の方とオンラインシステムを協同構築したこと。

メモ電話の開発とFAX事業の基礎を構築したこと。

OCRシステムの開発、研究所での画像処理システムの研究。技術本部で全社のCADシステム組織の再構築。

社内規定のWWW公開システムの構築。

実績の出来たもの、不十分なものありますが、有意義な活動が出来た事、満足を得られたことは私の幸せです。色々の方のご協力を得ての実績であり感謝しております。

### 【Y型共同開発のご苦労話】

電気炉制御装置の事業を閉鎖しアナログ屋さんがいきなりデジタル屋さんになりました。

昭和47年の事です。松下通信工業、新興製作所とミニコンを使っての端末開発です。

社内ではIntelの4004を使い始めた時です。世界中のマイクロプロセッサを調査しIntelの8008を選択して開発を始めました。私は電子回路の担当でしたがデジタルICもろくに知らない人が8ビットのマイクロプロセッサを使って回路設計をしたのです。しばらくはろくに寝ないで勉強しました。ミニコンを道具として使いましたからその勉強も必要でした。何とか無事に製品を完成して製造に移すことが出来ました。

しばらくお休みがあり次は郵政オンラインシステムの開発です。東芝も大型計算機の最後の時でこれに加われなければ撤退という状況で日野工場、柳町工場が何百人体制で開発に入っていました。私たちは柳町と端末機の独自開発を進めました。端末の制御はTEC通信制御は柳町担当でした。システムを何とか構築し東芝として客先に提案いたしました。

残念ながらシステムは電電公社に委託され東芝はオンラインセンターシステムから外されてしまい、東芝はこれで大型コンピューターから撤退することになりました。

残るは端末機で、これは電電公社と沖電気を加えた4社に任されました。電電公社との通信手順の検討、端末の設計、電電公社蔵前計算センター



での接続試験等を経て昭和53年無事にオンラインシステムがスタートしました。

当初は電電公社からの発注とのことで受注企業調査等もあり慎重に進めました。結局、電電公社は外され直接発注になりましたがヒヤヒヤものでした。

#### 【現在の仕事を始めるきっかけ】

短大卒でろくに正式な資格も持っていなかったので色々調査し技術士資格を見つけました。3年がかりで資格を取得しました。

58歳になっており技術本部で社内の技術部門に対する後方支援を担当していましたが、定年退職してから次の仕事を始めるのでは意気が上がらないと考えいっそこで退職して自分で仕事を始めようと決意しました。

娘のやっていた健康体操を含めた有限会社 コムネットを設立し今も続けています。

自分の仕事はコンピューターのコンサルタン

ト、社長業務、会社経理です。

現在70歳ですが自分でやれると思える内は続けるつもりです。

#### 【現在のお仕事の楽しい所・難しい所】

営業の難しさは実感しています。飛び込み営業、電話、インターネットからの仕事の依頼ですが、大変で難しいです。

生涯学習塾でEXCELの教室を5年ほど続けています、それなりにやりがいがあります。

色んな人に助けられ仕事をさせて頂いております、感謝感謝です。

コムネットのホームページは以下の通りです。

<http://www1.ocn.ne.jp/~comnet/>

又、E-Mailはhiyama@lilac.ocn.ne.jpです。皆様のご支援をお願い申し上げます。

(記) 松永秀隆

## 事務局より

### 《会員の状況》(H23/4—H23/7)

#### ☆新会員

石崎六美さん、足立 仁さん、川島恒治さん、草木 茂さん、斉藤正男さん、鈴木重貞さん、竹口政孝さん、東樹 朗さん、富田忠正さん、山田良三さん

#### ☆逝去会員

池谷信夫さん (H21/11)、杉村正夫さん (H22/11)、浅田美夫さん (H22/12)、高木 貢さん (H23/2)、菊地良雄さん (H23/4)、篠塚邦吉さん (H23/4)、富田育男さん (H23/4)、関野金二さん (H23/5)、山下和弘さん (H23/5)

### 《その他》

去る3月11日に発生した大規模震災により、被害を受けたOB会員は事務局の調査によると、家屋流出が1件、地震による被害(被害の程度は不明)を受けた方は8件との報告がありました。

常任幹事会としては、特に家屋流出の被害を受けた会員に対し、会則には該当する項目はないが、会則第2条に準じ、金額の多少に関わらず会員各位の志として、特別見舞金を支給することとしました。

具体的には第17回総会に於いて、提案し了解を得た上で実施する事にいたしました。

《第16回 OBリレー首都圏ファミリーウォーキングのご案内》  
東芝テックOB会・テック電子OB会・テックエンジニアリングOB会 共催  
旧江戸東京散歩・第四弾

## 《扇が裏・穴守稲荷から羽田新国際空港への移り変わりウォーク》

羽田国際空港はもと扇が裏要島（かなめじま）といい、多摩川の土砂によってできた低湿地帯でした。天明（1781）に羽田獵師町の名主・鈴木弥五右衛門が新田開発して以来、鈴木新田と呼ばれていた所に、風、津浪から村を守る穴守稲荷神社が現空港内に有りました。戦後の昭和20年、GHQは占領空港拡張のため区域内の住民に対して48時間以内の退去を命じ、穴守稲荷も移転を余儀なくされました。取り残された穴守稲荷の鳥居は平成11年に弁天橋近くに移転されました。



国際ターミナル5F展望デッキ



現在の羽田空港の大鳥居

- 開催日時：平成23年10月1日（土）11：00～16：00  
当日6：55AM、NHK気象情報の降水確率50%以上の場合は平成23年10月4日（火）に順延します
- 集合場所：京浜急行：国際線ターミナル駅出口改札口（羽田空港国際線ターミナル2F）
- 集合時間：10：30am受付開始／11：00am出発
- 参加対象：各共催OB及びその家族、知り合い、友人をお誘い下さい。
- 参加費：一人300円／家族単位500円
- 今回の案内人：鎌田芳郎（東芝テックOB会員）
- 予定コース：
  - 京急：国際線ターミナル駅：出口改札口（11：00出発）～4F：江戸小路、江戸前横丁、江戸舞台～5F：展望デッキ（12：00～13：30昼食を兼ねて自由時間、散策）……
  - 国際線ターミナル：5F展望デッキ（13：30出発）～羽田空港の大鳥居（14：10出発）～白魚稲荷神社～穴守稲荷神社～五十間鼻～玉川弁財天水神社～羽田の水門（赤レンガの堤防）～かもめ稲荷～羽田の渡し跡～羽田神社～萩中公園～京急：大鳥居駅（16：00解散・全コース約7Km）
- 申込先・方法  
下記幹事のいずれかにE-mail又はFax、電話にて、住所・氏名・TEL・最終所属をご連絡下さい。  
申込締切は平成23年9月25日（日）

塚原 仁	TEL/FAX：	042-364-8397	E-mail：ICK59860@nifty.com
吉田昭太郎	TEL： FAX：	0463-58-8610 0463-26-3075	E-mail：shotaro.yoshida@nifty.com
TEOB会	TEL： FAX：	03-5245-9001 03-5245-3494	E-mail：TE_OBkai@toshibatec.co.jp
鎌田 芳郎	TEL/FAX：	03-3771-0057	E-mail：kamayosi@zj8.so-net.ne.jp

- その他・持参品：お弁当・健康保険証・雨具・など  
（解散後、希望者は大鳥居駅近くで、ささやかな打ち上げ会を予定しております）